

中国四川大地震被災者支援報告

2008年12月24日
エファジャパン

2008年5月12日に中国四川省で発生した大地震は、死者69,227人、行方不明者17,923人以上という大きな被害をもたらしました。

エファジャパンは、自治労組合員を中心とする募金12,423,002円を日本赤十字社へ資金提供しました。

緊急救援期において、中国紅十字会（中国の赤十字社）は、緊急医療隊の派遣や、世界中から中国に寄せられた莫大な救援物資を、18万人のボランティアを通じて、被災地に届けました。

日本赤十字社も国際赤十字の一員として、下記の支援を行いました。

緊急救援事業 10億400万円

- ・緊急救援物資の購入、搬送 9億9750万円
（テント9418張、衛生用品5万世帯分、食料セット4万世帯分）
- ・職員の派遣等 650万円

7月と10月に、各国赤十字社、国際赤十字、中国紅十字会が集まり、復興支援会議が開催されました。

復興支援の最大のニーズは、個人住宅の再建であることから、国際赤十字の復興事業計画として、住宅、学校、保健施設の再建が決定されました。

日本赤十字社の復興支援事業は、以下の通りです。

復興支援事業 41億5400万円

- ・個人住宅再建（4719戸） 19億7100万円
- ・学校再建（12校） 5億2600万円
- ・保健施設の再建 4億6500万円
（病院29棟、村クリニック28カ所）
- ・被災者の越冬支援 2億8200万円
- ・今後策定する復興事業 7億3800万円
- ・アジア大洋州広域防災物資の備蓄 9000万円

日本赤十字社の支援総額：合計：51億5800万円

そのうち、自治労組合員を中心とする資金提供：12,423,002円

以上